

杜の風

校長 森 薫

3年生、卒業まであと2か月となってしまいましたね。大変だと思いますが、受検（受験）勉強、頑張ってください。職員一同、応援しています。

今日は、『できる。と している。』 『3年生としての自覚と責任』について書きたいと思います。

3年生についてですが、私が感心していることは、自分の機嫌によってとか、人（相手）によってとか、人が見ているとか見ていないとか、時と場合によってとかではなく、

3年生は、いつも挨拶をしっかりとしているんです。

いつも掃除をしっかりとしているんです。

そうなんです。できるのではなくて、実際にしているのです。

これは、すごいことだと思います。

私は、胸を張って、自信をもって3年生を高校にでも社会にでも送り出せます。なぜなら3年生はこの1年間、常に毛里田中の最高学年として、毛里田中の顔として、3年生の先輩として、その『自覚と責任』を意識しながら生活してきたからです。それが集大成として、挨拶と掃除に表れているのだと思います。

こういう人たちは、人から可愛がられます。そして、こういう人たちが困っているときには、「よし、助けてやろう。」とか「手伝ってやろう。」とか、周りの人を自然とそういう気持ちにさせるのです。不思議ですね。

3年生のしっかりとした挨拶も掃除も、1年生の時からしっかりとしていたとは思えません。（ごめんなさい）ではなぜ3年生はそのように成長したのでしょうか。やはりそれは、『3年生としての自覚と責任』だと思います。3年生、あと少しですが、君たち、あなたたちの創った素晴らしい伝統を、後輩たちに引き継いでいってください。お願いします。